

端午の節句

五月五日は、「端午の節句」。

男の子の元気で健やかな成長を願う

古来からの伝統行事です。

現代では「こどもの日」として祝われる五月五日。この日はもともと五節句の一つ、「端午の節句」です。

武士の勢力が高まった江戸時代、別名・菖蒲の節句とも呼ばれました。「菖蒲」は武を重んじる「尚武」に例えられ、毎年五月五日は大名が江戸城に参じ、將軍にお祝いを奉じる重要な節目の日でした。やがてそれは一般にも広がり、男の子の誕生と成長を祝う行事となりました。菖蒲湯に入るなどの風習はここからきています。兜や鎧を飾るのは、事故や病氣から大切な子どもを守るため。柏餅には子孫繁栄の意味合いがあり、また鹿児島では灰汁巻き(ちまき)を食べる習慣もあります。

お子様の健やかで幸せな成長を願う伝統行事に明石屋の祝い菓子が彩りを添えます。



三ツ盛「端午の節句」

元気に滝を昇る鯉と、強くたくましくと願う菖蒲の花をモチーフにしています。

一、六八〇円(税込)

〔木箱入り〕二、二〇〇円(税込)

柏餅 かしわもち

一個 二二六円(税込)
 五個入 六三〇円(税込)



明石屋
 創業安政元年

ご注文書

品名	数量	単価	金額	お渡し日		
				日	時頃 ()	店)
				〒		
				お名前		お電話